

みやざき商店街活性化支援強化事業業務の流れ

1. 県内商店街状況の簡易アンケート調査

市町村へ商店街の構成員数、景況感、今後の見通し、課題及びその要因 等についてアンケート調査（今回の調査）を実施する。

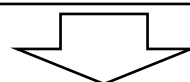


2. 取組商店街の選定

1, のアンケート調査を受けて取組商店街の募集及び選定を行う。

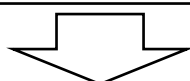
※取組商店街の選定基準 取組商店街の選定に当たっては、以下に該当する商店街の中から選定を行う。なお、選定に当たっては、地域バランスを考慮するとともに、県との協議により決定。

- ・ G o T o 商店街の申請主体となりえること。また、ポストコロナを見据え事業効果が期待できる取組を検討している商店街組織等であること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の取組意識を持った商店街組織等であること。
- ・ 事業を円滑に執行するための体制が整った商店街組織等であること。



3. 取組商店街へのヒアリング

取組商店街決定後、商店街の現状把握、将来像（地域に求められる商店街となるため、またポストコロナを見据え自分達の商店街をどのような商店街にしていくのか。） について対面によるヒアリング、ワークショップ等を行う。



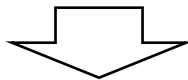
4. 活性化プランの策定・専門家の派遣

3, のヒアリング、ワークショップ等を基に、商店街の将来像及びその実現に向けた具体的な取組（G o T o 商店街事業につながるもの）を示した商店街活性化プランを作成する。併せて、プラン実践に向けた専門家等の派遣を行う。

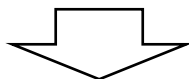
※商店街活性化プランの取組例

- ①にぎわい創出プラン 多世代が集えるイベントやオープンテラスなどにぎわい創出の取組
- ②ICT活用プラン オンラインまちゼミやEC化支援などICTを活用した取組
- ③地域商品開発プラン 地域の特産品を使った一店一商品開発など地域商品を活用した取組
- ④観光客誘客プラン 商店街へ地域外の人を呼び込むため観光地と連携した取組

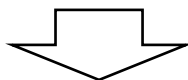
※①～④の取組を推進するため、必要な専門家（中小企業診断士、まちづくりコンサルタント、マーケティングプランナー、フードビジネスコンサルタント、専門性を有した民間事業者等）を商店街に派遣。



5. 「G o T o 商店街」の申請・実施サポート
商店街の「G o T o 商店街」事業への申請をサポートする。また、採択後、事業実施をサポートする。



6. 取組内容の情報発信
商店街の取組を県民に知ってもらうため、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。



7. 取組効果の検証
店舗や商店街利用者からのアンケート等を交え、取組効果の検証結果をとりまとめる。